

## 4 中丹地域振興計画

### (1) 主な成果等

#### 主な成果等 1

「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくり

- 出生数は全国的に減少傾向であり、中丹管内では府や管内3市、子育て支援団体による支援を推進してきたが、1,762人(2013年)から1,567人(2017年)に減少し目標(2013年比97人増)は達成できなかった。
- 移住セミナーや地域の魅力体感ツアー等の取組により、Iターンなどによる移住者が増えつつある。(2013年度:55人、2018年度:167人)
- 中小企業者数は2018年度で1,965社であり目標(2,000社以上)を下回ったものの、ほぼ横ばいで推移するとともに、企業誘致活動や雇用増加に対する支援を進める中で、企業誘致等による雇用創出人数は2015年度から2018年度までの累計で476人となり、目標(460人)を上回った。
- 主な農林水産物の生産額は災害等の影響により2018年度は90,400万円と目標(97,000万円)を下回ったが、生産者・行政・関係団体が連携して生産拡大や品質向上、販路拡大に取り組み、万願寺甘とうの京都府初のGI(地理的表示)保護制度登録や、全国茶品評会における11年連続での産地賞受賞など、付加価値の高い特産品の生産が進んだ。

#### ☆UIターン等により若者等が地域に定着したくなる環境整備

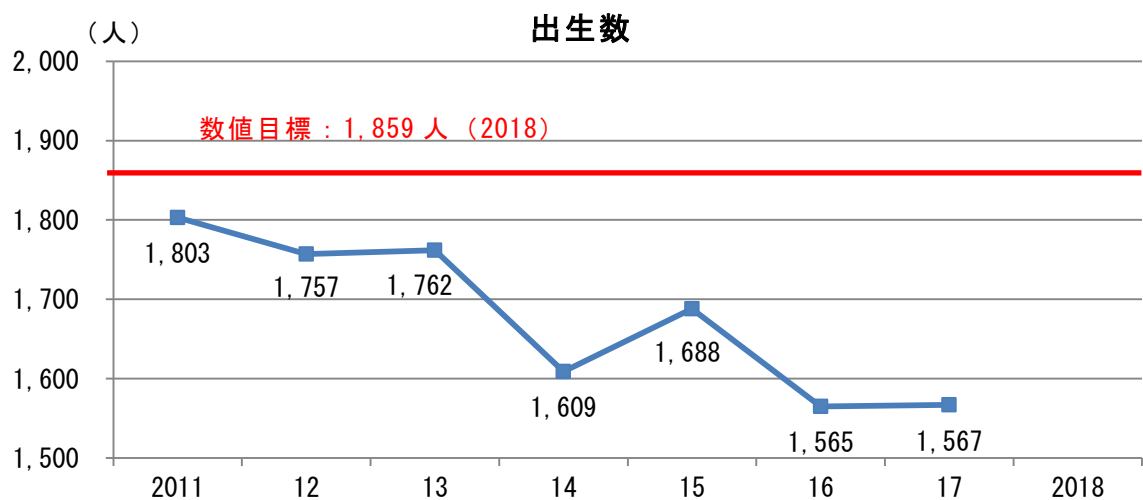
地域での働き方・暮らし方の発信や環境整備を進めるとともに、大学等との連携による若者の地元定着の促進や、移住希望者の掘り起こしと地域とのマッチングによる移住・定住の促進に取り組む必要がある。

#### ☆人権が尊重され将来に希望を持ち健やかに暮らせる環境整備

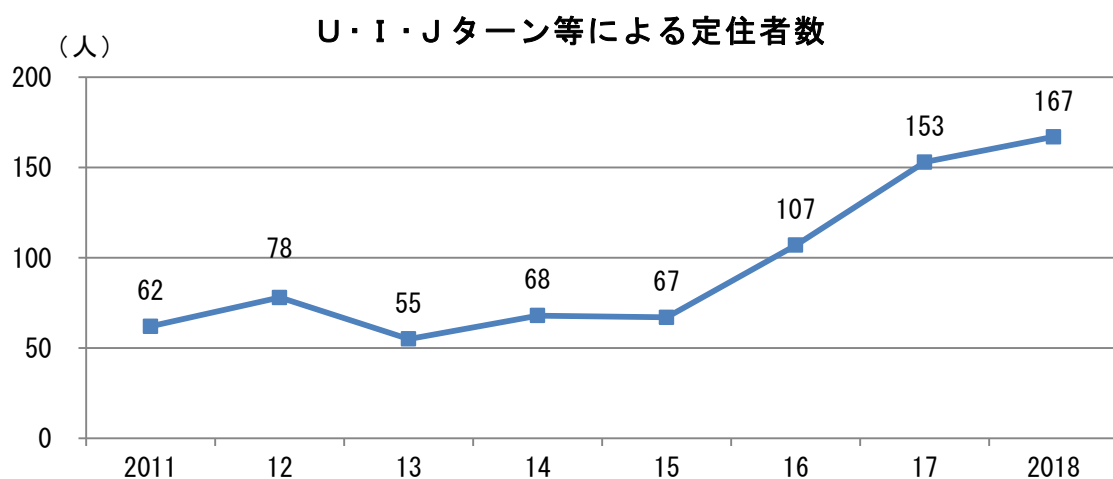
一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、誰もが自分らしく生き、参画できる社会づくりを進めるとともに、安心して子どもを産み・育てることができる環境整備や医療・介護・福祉の充実、健康づくりを推進する必要がある。

#### ☆地域産業の振興と雇用の促進

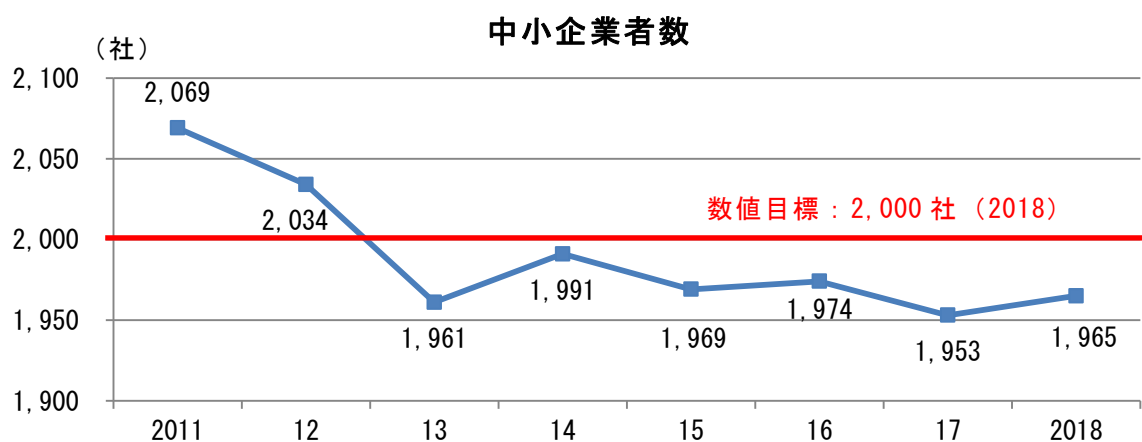
生活の基礎的要素となる「しごと」の量と質を充実させるため、地元中小企業の育成、働く場の創出、人材の確保を進めるとともに、マーケットニーズに対応した「儲かる農林水産業」を推進する必要がある。



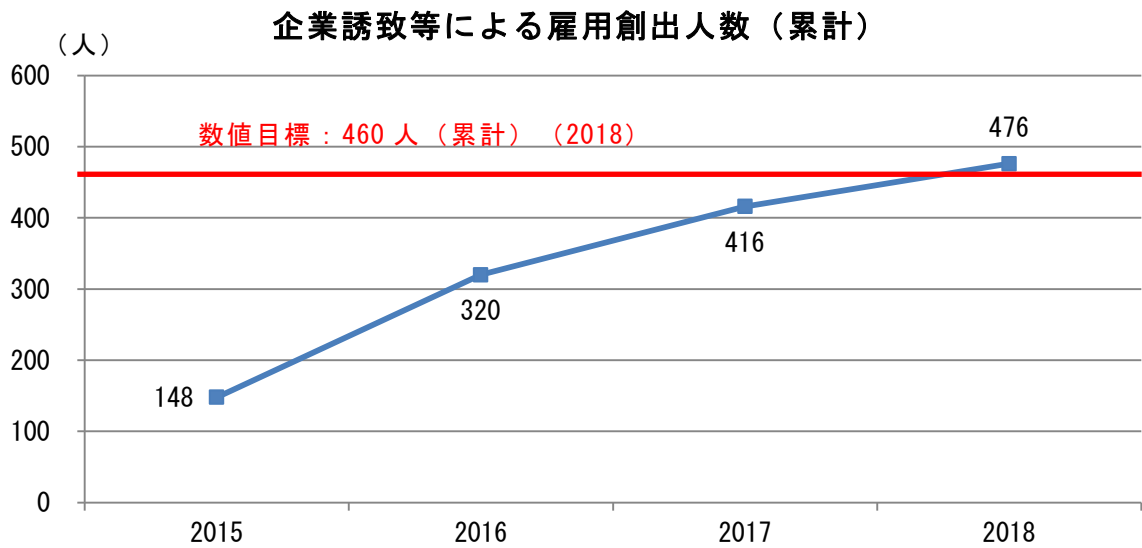
資料：人口動態統計（厚生労働省） ◆□統計データ・施策指標



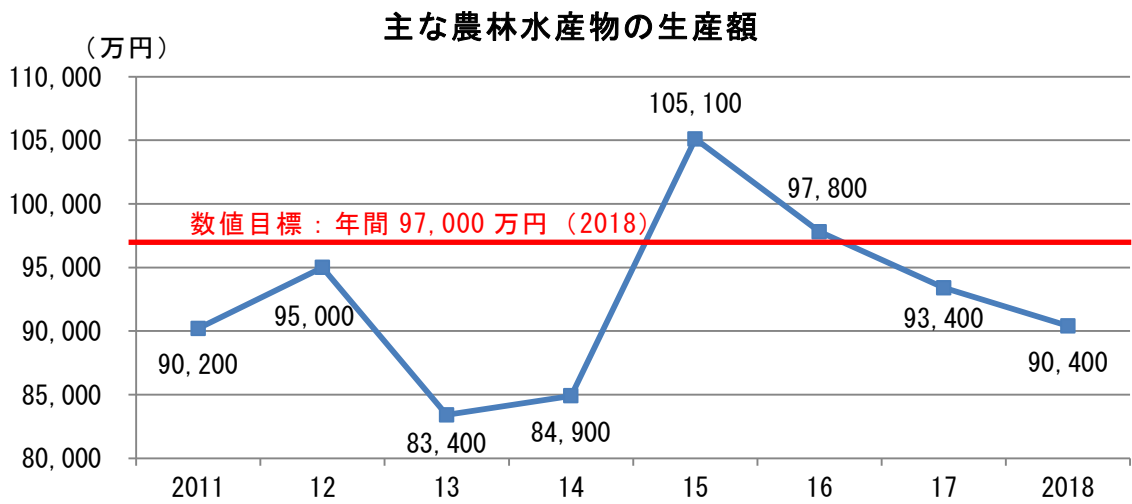
資料：中丹広域振興局調べ ◆統計データ



資料：中丹広域振興局調べ □施策指標



資料：中丹広域振興局調べ □施策指標



資料：中丹広域振興局調べ □施策指標

## 主な成果等 2

### 「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大

- 「海の京都 DM0」「森の京都 DM0」の設立や京都縦貫自動車道の全線開通などの効果もあり、中丹地域の観光入込客数は2013年の324万人から増加傾向にあるものの、連続して発生した自然災害の影響により、2018年は382万人で目標（400万人）を下回った。
- 観光客1人当たりの消費額は2018年で1,818円と、数値目標（2,200円）には届かなかったものの、京都市を除く府内地域別では丹後（2018年度：3,021円）に次いで2番目の水準となった。
- 農家民宿は、関係法令の調整から許可申請手続きまでのワンストップ相談での支援等により、2018年度までに累計で41軒が開業するなど増加傾向にあり、教育体験旅行などの受け入れも進んだ。
- 北近畿唯一の国際港である京都舞鶴港では、コンテナ取扱量が6,906TEU（2013年）から13,326TEU（2018年）と2倍近く増加したほか、クルーズ船寄港回数も増加傾向にあり、関西経済圏の北の玄関口として、人とモノの交流が拡大してきた。
- 舞鶴若狭自動車道と京都縦貫自動車道の開通・延伸や4車線化とともに、国道・府道の整備を推進した。（道路事業実施箇所件数：年間20件）

#### ☆自然や地域文化などの地域資源を活かした関係人口の創出

由良川や大江山等における観光・スポーツ交流の推進や、地域の行事や文化活動等を活かした交流の拡大、農泊や農業体験ツアーなどの農観連携の推進に取り組む必要がある。

#### ☆地域の食など特産品の魅力向上を通じた交流の拡大

消費者視点や健康志向、地産地消などに着目し、地域の食など特産品の開発・発掘を進める必要がある。

#### ☆京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大

港から地域への周遊強化など港湾施設の効果波及させるとともに、人流・物流の機能強化に向けた港湾施設の整備や京都舞鶴港のエコ・エネルギーポート化を推進する必要がある。

#### ☆交流等を支える交通ネットワークの整備

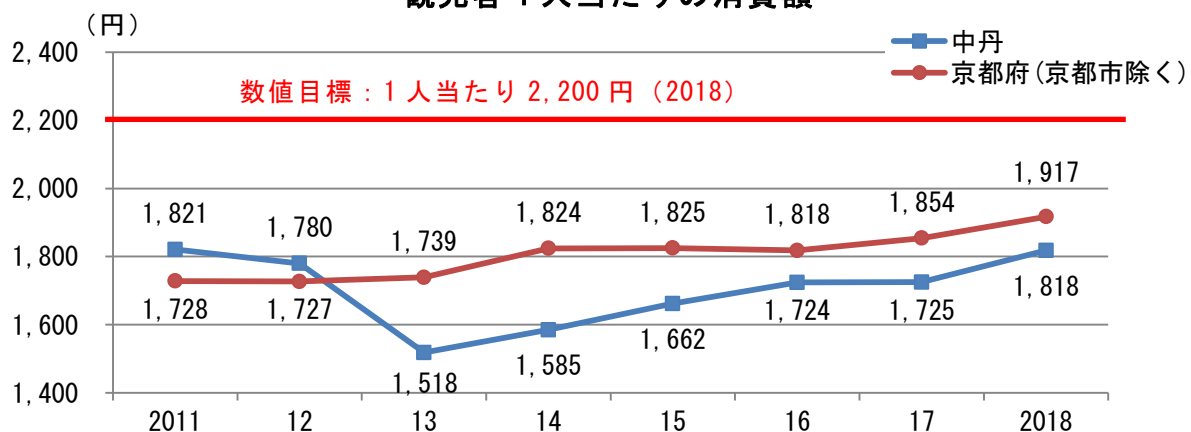
人流・物流や地域の生活を支える道路の整備を推進するとともに、利便性向上等により公共交通の活用を促進する必要がある。

### 観光入込客数



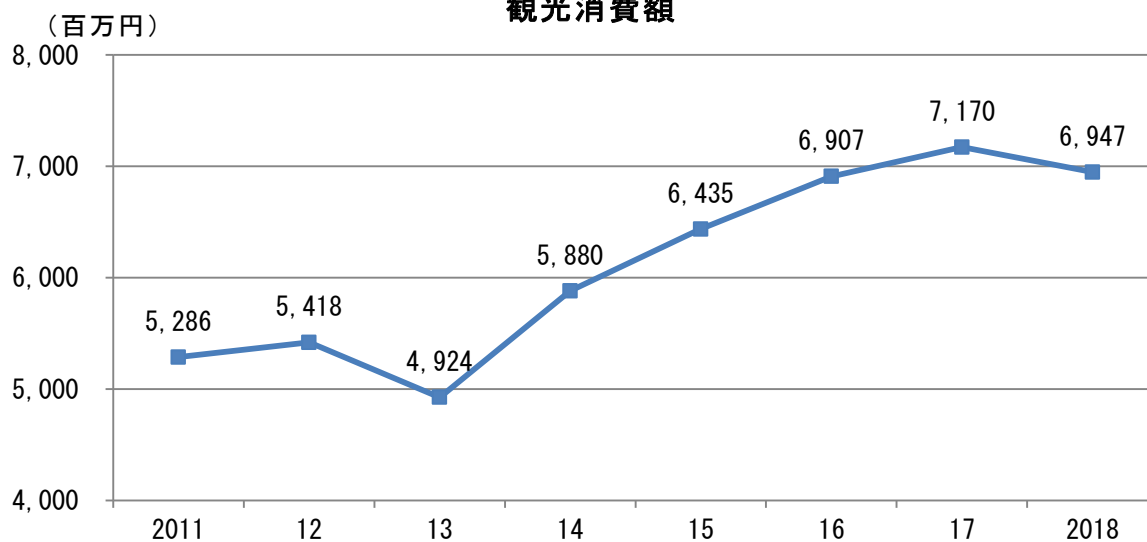
資料：京都府観光入込客調査 ◆□統計データ・施策指標

### 観光客 1人当たりの消費額



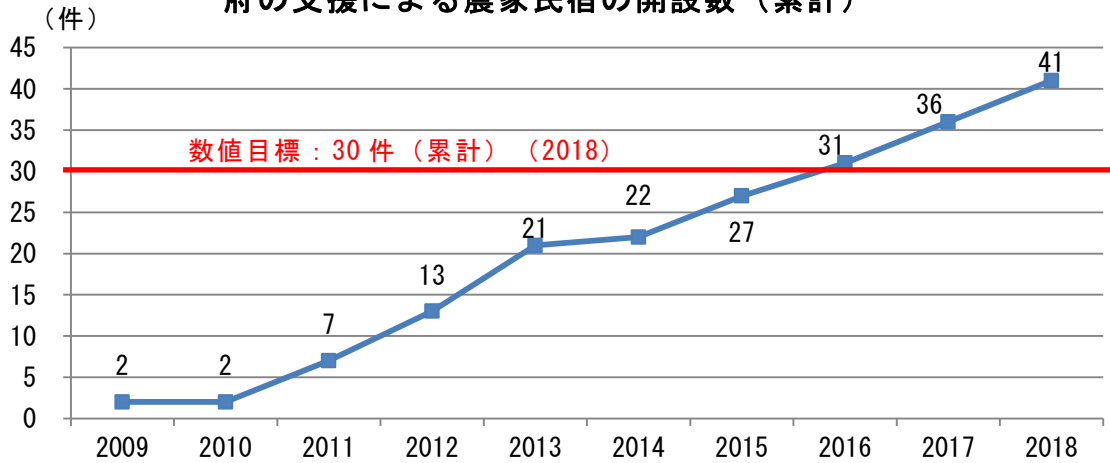
資料：京都府観光入込客調査 ◆□統計データ・施策指標

### 観光消費額



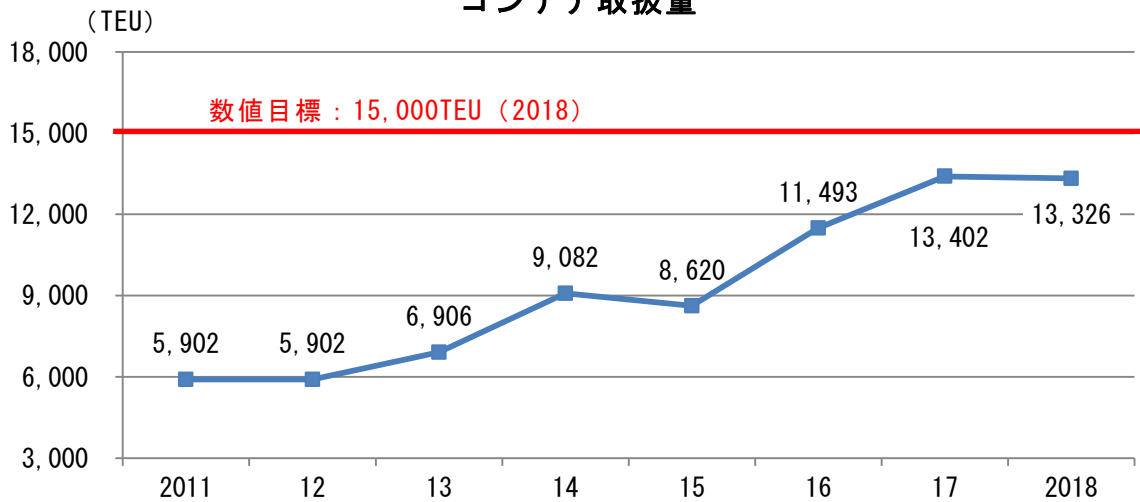
資料：京都府観光入込客調査 ◆統計データ

### 府の支援による農家民宿の開設数（累計）



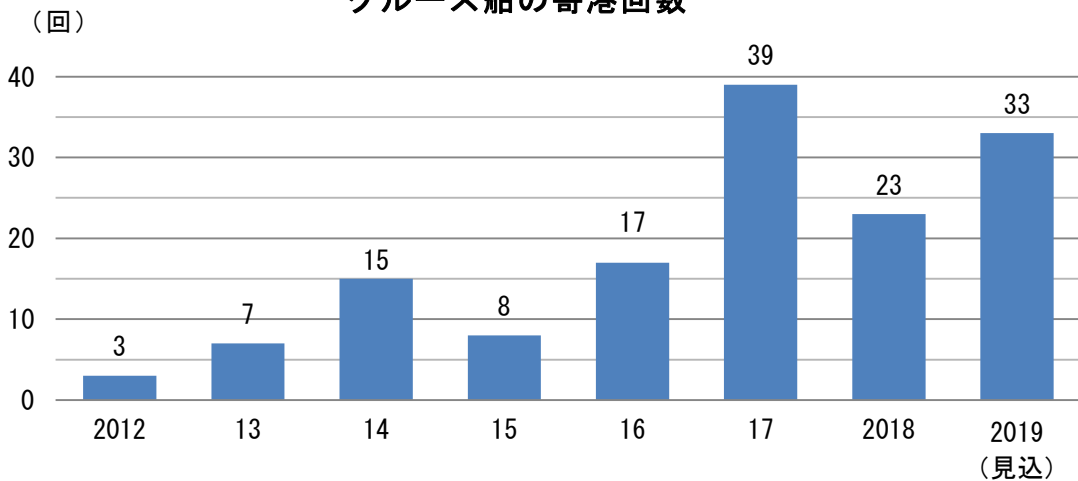
資料：中丹広域振興局調べ □ 施策指標

### コンテナ取扱量



資料：事業実績 □ 施策指標

### クルーズ船の寄港回数



資料：京都府港湾局調べ ◆ 統計データ

## 主な成果等 3

### 国土強靱化の推進による災害に強い地域づくり

- 中丹地域はこれまで数多くの豪雨災害に見舞われており、早期の災害復旧を図るとともに中長期視点に立った治水対策を進めている。
- 由良川治水対策事業と連携する府関連事業は、地元調整や事業用地の確保を順調に進め、2015年度から2018年度までに累計で7事業を完了し目標（6事業）を上回った。
- また、ハード対策と並行して、災害時の避難に関する住民一人ひとりの意識の向上や地域ぐるみの防災・減災対策が課題として浮き彫りになってきていることから、管内各市と連携し、自主防災組織におけるリーダーを2018年度までに累計で1,195人育成するなど、目標（897人）を上回るペースでソフト対策を進めてきた。
- 中丹地域は、広い範囲が原子力発電所から30km圏内のエリアに位置していることから、万が一、原子力災害が発生した場合に備えて訓練に取り組むとともに、サーバイメータを取り扱える職員を2018年度までに累計で211人（目標：140人）育成した。

#### ☆安心・安全な暮らしを支える社会基盤整備

森林から河口までの「総合的な治山・治水・流域対策」等を展開するとともに、災害時等の交通ネットワーク確保や交通安全対策、施設老朽化等への備えを強化する必要がある。

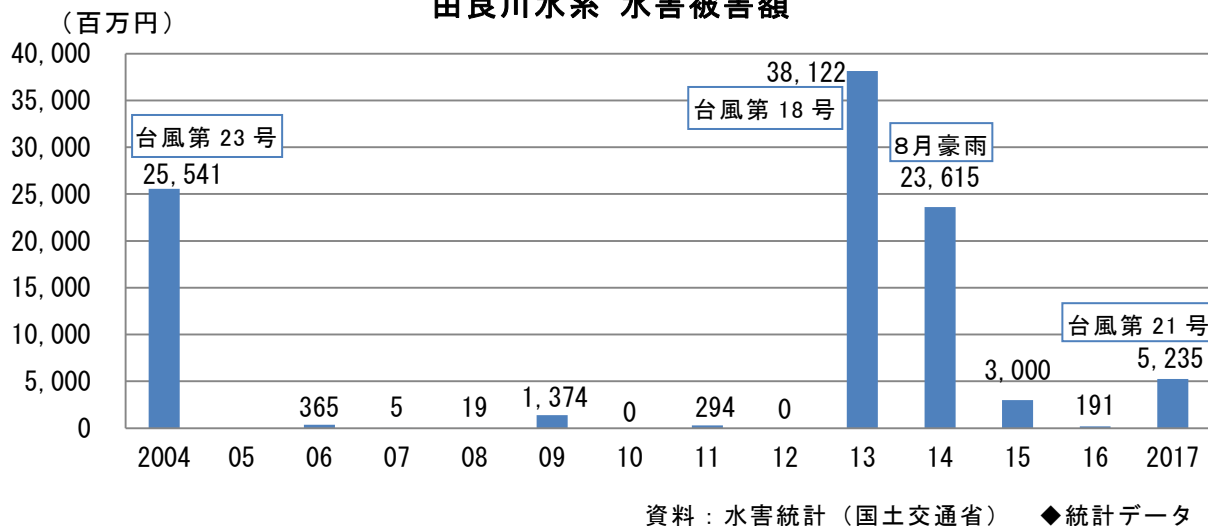
#### ☆災害対応力の強化

ハード面の整備に加え、ソフト対策を効果的に組み合わせるため、災害情報を迅速に提供できる環境整備の促進や、災害発生時の緊急対応体制の充実・強化を図るとともに、地域ぐるみによる防災・減災対策の取組を支援する必要がある。

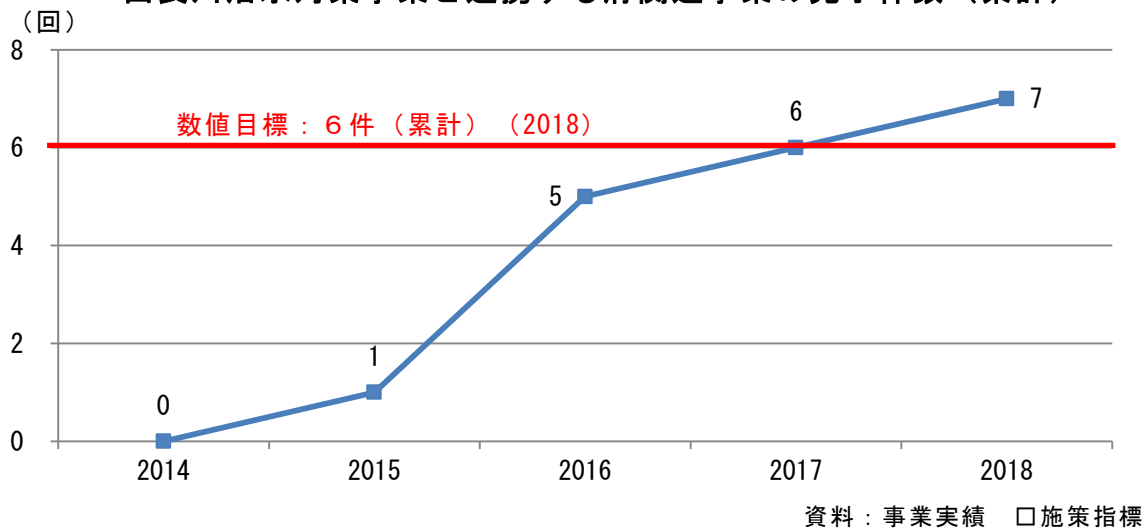
#### ☆原子力災害への備え

危機管理体制の充実強化を図るため、住民参画による原子力総合防災訓練等を実施し住民理解を促進するとともに、広域避難計画の実効性を高める必要がある。あわせて、迅速な避難のため、半島部や山間部など代替ルートのない路線において、1.5車線の道路整備を推進する必要がある。

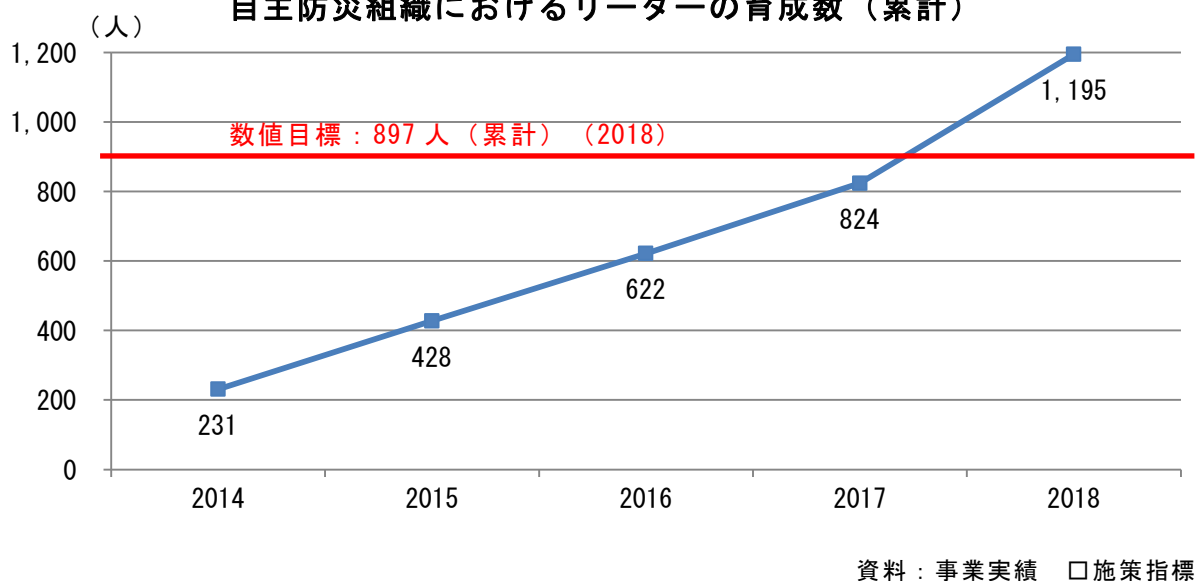
### 由良川水系 水害被害額



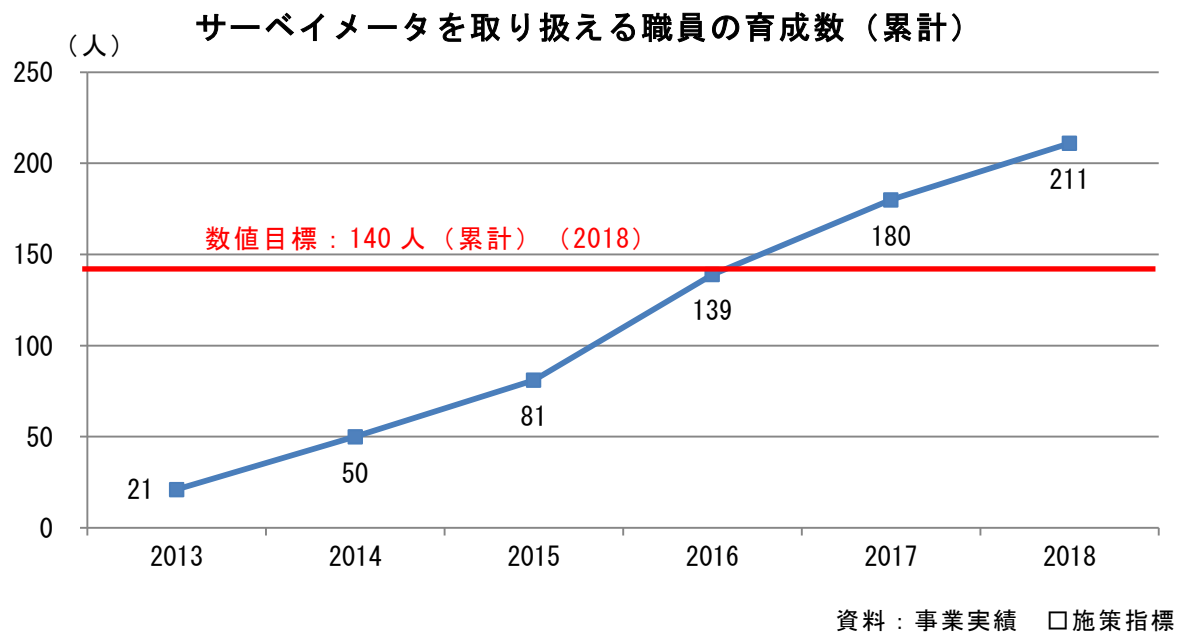
### 由良川治水対策事業と連携する府関連事業の完了件数（累計）



### 自主防災組織におけるリーダーの育成数（累計）







## (2) 地域振興計画関連指標 (数値目標)

2018年(度)達成状況

## 〔達成率の算出方法〕

①数値目標が「増加」の方向をめざしている場合

$$\text{達成率}(\%) = (\text{当該年(度)実績値} - \text{基準値}) / (\text{数値目標} - \text{基準値}) * 100$$

②数値目標が「減少」の方向をめざしている場合

$$\text{達成率}(\%) = (\text{基準値} - \text{当該年(度)実績値}) / (\text{基準値} - \text{数値目標}) * 100$$

施策指標	単位	基準値 (基準年)	数値目標 (目標年)	実績値		
				2015年(度)	2016年(度)	
<b>中丹地域振興計画</b>						
63	由良川治水対策事業と連携する府関連事業の完了件数 (累計)	事業	0 (2013年度)	6 (2015~2018年度)	1	5
64	自主防災組織におけるリーダーの育成数 (累計)	人	231 (2014年度)	897 (2018年度)	428	622
65	サーベイメータを取り扱える職員の育成数 (累計)	人	21 (2013年度)	140 (2018年度)	81	139
66	出生数増	人	1,762 (2013年)	+97 (2018年)	-74	-197
67	新たに介護施設等で介護サービスの提供に携わる職員の数	人	186 (2013年度)	580 (2015~2018年度)	237	467
68	管内産素材生産量	m3	21,000 (2010~2012年度平均)	29,000 (2018年度)	20,670	22,290
69	主な農林水産物の生産額	万円	92,400 (2010~2012年度平均)	97,000 (2018年度)	105,100	97,800
70	中小企業者数	社	1,961 (2013年度)	2,000以上 (2018年度)	1,969	1,974
71	京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量	TEU	6,906 (2013年)	15,000 (2018年)	8,620	11,493

注1) 調査未実施、結果未公表等の理由で実績値が記載できない指標については、当該年(度)の「実績値」欄に「-」と記載した。

注2) 結果未公表により目標年の実績値が明らかとなっていない場合がある。このため、一部の指標については、「達成率」欄が目標に対する進捗率となるものがある。

実績値		達成率 (%)	数値目標数値が達成又は未達成となった要因等	備考
2017年(度)	2018年(度)			
6	7	116.7	地元調整や事業用地の確保を順調に進め、数値目標を達成した。	
824	1,195	144.7	管内各市と連携した研修の実施等により、数値目標を達成した。	
180	211	159.7	原子力防災課と連携し、原子力緊急時支援・研修センターの協力を得て研修を定期的に開催することにより、数値目標を達成した。	
-195	-	-201.0	15歳～49歳の女性人口の減少等により4年間の出生数は減少傾向にあるが、2017年度については、出生数が全国・府内いずれも前年より減少する中、府や各市の施策の効果もあり中丹広域振興局管内では現状を維持した。	
678	901	155.3	きょうと介護・福祉ジョブネットや京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議と連携して取組を進め、数値目標を達成した。	
18,616	25,561	57.0	新規業者の参入に加え、OJT研修や高性能機械導入推進等に積極的に取り組んだことにより管内産素材生産量は増加傾向にあるものの、原木価格の低迷が続いており、数値目標には到達しなかった。	
93,400	90,400	-43.5	生産者、行政、関係団体が連携し、生産拡大・品質向上、販路拡大への取組を推進してきたところであるが、自然災害による農作物・農地・ハウス等への被害により減少傾向となった。	
1,953	1,965	10.3	中小企業応援隊による企業への伴走支援や創業支援を推進したものの、人材不足や後継者不在等が影響し、横ばいとなった。	
13,402	13,326	79.3	年間1,000社以上の企業訪問や海外セミナーの開催等の結果、新規貨物の獲得につながったものの、天候や貿易規制等の影響もあり、数値目標を達成できなかった。特に2018年度は、下半期(7～12月)で半期としては過去最高を記録したものの、冬季の荒天による寄港回数の減や、中国のリサイクル品輸入規制による古紙等輸出の減少により、年間では前年度を下回った。	

施策指標	単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	実績値	
				2015年(度)	2016年(度)
72 企業誘致等による雇用創出人数（累計）	人	54（2013年度）	460（2015～2018年度）	148	320
73 観光入込客数	万人	324（2013年）	400（2018年）	387	400
74 観光客の一人当たり消費額	円	1,518（2013年）	2,200（2018年）	1,662	1,724
75 道路事業実施箇所件数（年間）	件	20（2013年度）	20以上（2018年度）	20	20
76 府の支援による農家民宿の開設数（累計）	軒	21（2013年度）	30（2018年度）	27	31
77 地域力再生交付金等を活用したプラットフォームの数（累計）	件	10（2013年度）	20（2018年度）	14	16
78 ① 自分の夢や目標を持っている子どもの割合（小学校6年生）	%	85.4（2013年度）	増加（2018年度）	85.3	83.8
78 ② 自分の夢や目標を持っている子どもの割合（中学校3年生）	%	69.6（2013年度）	増加（2018年度）	65.8	66.1
79 地域が主体的に取り組む文化活動への支援件数（年間）	件	10（2013年度）	10以上（2018年度）	22	19

実績値		達成率 (%)	数値目標数値が達成又は未達成となった要因等	備 考
2017年(度)	2018年(度)			
416	476	103.5	企業誘致及び雇用増加に対する支援を進めるとともに、北 京都ジョブパークなどと連携し、様々な就職マッチングの取 組を行った結果、景気の緩やかな回復の相乗効果もあり、数 値目標を達成した。	
416	382	76.3	京都縦貫自動車道の開通、海の京都・森の京都によるプロ モーション効果により堅調に増加してきたが、2018年度は7 月から連続して発生した豪雨災害等により一時的に減少し た。	
1,725	1,818	44.0	海の京都DMOの着地型旅行商品新規造成やブラッシュアッ プ等により4年間増加し続け、京都府全体と比較しても高い 伸び率を見せたが、数値目標には到達しなかった。	
20	20	100.0	地元調整や事業用地の確保を順調に進め、数値目標を達成 した。	
36	41	222.2	旅館業に必要な関係法令の調整から許可申請手続きまでの ワンストップ相談による農家民宿の開設支援により、数値目 標を達成した。	
18	21	110.0	パートナーシップセンターにおいて地域力再生交付金活用 の相談に丁寧に対応するなど、行政と民間の協働によるプ ラットフォーム形成の取組を着実に進めたことにより、数値 目標を達成した。	
82.3	85.6	100.0	質の高い学力の育成や豊かな人間性の育成などの京都府教 育振興プランに基づく「はぐくみたい力」の調和を大切にし た教育の推進により、数値目標を達成した。	
66.9	72.4	100.0	管内各市教育委員会等とキャリア教育の視点に立った各校 の教育活動の推進及び取組内容に係る情報共有の促進によ り、数値目標を達成した。	
21	18	100.0	文化関連補助金や地域力再生交付金などによる支援を通じ て、地域における文化活動が積極的に進められたことによ り、数値目標を達成した。	

### (3) 前年度の課題に対する対応状況

ベンチマークレポート [2018年10月] の「今後の課題」について、2019年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

#### 中丹地域振興計画

今後の課題	主な事業等
<b>(1) 育・職・住の充実した持続可能な地域づくり</b>	
☆多様な価値観やライフスタイルが実現できる地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「育・職・住」ライフスタイル推進事業</li> <li>・「京都府北部いなか暮らし」魅力発信事業</li> </ul>
☆少子高齢化対策や若者の地元定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹地域まるごと子育て支援事業</li> <li>・中丹ふるさとを守る絆ネット推進事業</li> <li>・中小企業 若者地元就職促進事業</li> </ul>
☆京都舞鶴港の活用など産業振興を通じた雇用促進、福知山公立大学などの教育機関や地域と連携した未来を担う人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりグランドデザイン推進</li> <li>・未来を拓く茶どころ中丹発展支援事業</li> <li>・万願寺甘とう生産者拡大支援事業</li> <li>・「育・職・住」ライフスタイル推進事業</li> </ul>
<b>(2) 「もうひとつの京都」の推進による魅力あふれる地域づくり</b>	
☆「海の京都」の推進による広域的な観光地域づくりの推進と北部連携都市圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農家民宿等」魅力づくり事業</li> <li>・クルーズ客まちなか回遊促進事業</li> </ul>
☆「森の京都」の推進による森林文化の発信や成長・循環型林業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都中丹認証ジビエ倍増戦略事業</li> <li>・中丹「緑の幼稚園」育成事業</li> </ul>
☆「海」と「森」をつなぐ広域的な誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹スポーツ・トレイル推進事業</li> <li>・女性の心を射抜く！中丹の魅力商品発見・発信事業</li> <li>・大丹波連携推進事業</li> </ul>
<b>(3) 国土強靱化の推進による安心・安全な地域づくり</b>	
☆国土強靱化を実現する社会基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・親しみの由良川づくり事業</li> <li>・社会基盤長寿命化対策</li> </ul>
☆原子力災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力防災対策事業</li> </ul>